

12月の水谷公民館

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| 3日(火) 水谷地区公民館運営審議会 | 14日(土) 里山ボランティア |
| 4日(水) 親子フレンドパーク
パソコン相談室 | 16日(月) 大掃除・利用者懇談会 |
| 7日(土) グランドゴルフ&いも煮 | 18日(水) お母さんステップアップ講座
パソコン相談室 |
| 9日(月) 水谷子ども広場 | 19日(木) 水谷学級全体会 |
| 11日(水) 介護者サロン「つばきカフェ」
パソコン相談室 | 22日(日) うたごえ喫茶 in 針ヶ谷 |
| | 25日(水) パソコン相談室 |

水谷公民館だより

編集 水谷公民館だより編集委員会
発行 富士見市立水谷公民館 富士見市水谷1-13-6
TEL049(251)1129・FAX049(255)9886・✉ fkm-mi@coral.ocn.ne.jp

富士見の御嶽山

関東地方では山岳信仰が盛んで、霊峰富士山をはじめ、白山(石川県・岐阜県)、立山(富山県)、御嶽山(長野県・岐阜県)、出羽三山(山形県)、大山(神奈川県)などが古くから信仰の対象となっていました。江戸時代終りから明治時代初めの頃が最盛期で、どの山にも何万人、何十万人が参拝したといわれています。しかし、多くの人は、それが叶わなかったようで、山を模して築いた塚に参拝しました。近隣では、志木市本町二丁目にある田子山富士塚(県指定文化財)が有名です。

市内にもいくつか塚があり、水谷地区にも御嶽山信仰にまつわる二つの塚が残されています。それぞれ所有者からお話をうかがいました。担当 辻・佐々木編集委員

御嶽信仰

御嶽山は長野県木曾町・王滝村と岐阜県下呂市・高山市にまたがる標高3千67mの独立峰の活火山です。5年前の9月に突然噴火し、たくさんのお命が失われました。ようやく今年の夏に山頂までの登山が可能となりました。ちなみに、大相撲の関脇御嶽海の四股名はこの山が由来です。

御嶽山は、中世から修



御嶽山(木曾町開田高原より)



木内家 御嶽山大神の石碑

験者の修行の場となっていました。本格的な開山は江戸時代で、天明5年(1785)に覚明行者が木曾町(旧三岳村)の黒沢口を、寛政4年(1792)に普寛行者が王滝村の王滝口を開いたことによりです。以後、信仰の山として世間に広まり、やがて各地で信者により講が組織されました。講には、「覚明講」と「普寛講」の二つの流れがあります。関東では普寛講が、中部では覚明講が多いようです。

水谷地域には、水子の木内家と針ヶ谷の神山家

に御嶽講の塚があります。木内家、神山家ともに講を率いる先達で、木内家は普寛講、神山家は覚明講の系統でした。



木内家の御嶽塚

富士見れんげこども園近くの神明坂下、鎌倉道の道筋にあたる北東向き斜面を利用して作られています。斜面の中腹をテラス状に整え火山岩を敷き詰め、明治28年(1895)銘の御嶽山大神の石碑が建てられています。

現当主・木内精一さん

木内家の御嶽塚

「高祖父の忠次郎(精一さんの4代前)が二代目の普寛行者のもとで先達となり、曾祖父信吉、祖父忠次郎、6年前に90歳で亡くなった父忠寿が80歳頃までの4代に渡り先達をつとめていました。今は御嶽講からは離れていますが、父が先達を務めていた頃は、冬至には講員が集まり星祭を行い、年明けには東京都稲城市の普寛講社にお参りにも行っていました。

塚は残っているのですが、毎年正月を迎えるにあたり、塚周りを整え、新しいしめ縄を飾っています。正月にはお賽銭が絶えないので、今でも、講員の方のお参りが続いているようです」

神山家の御嶽塚

塚は、針ヶ谷二丁目の神山家屋敷地の一角にあります。規模は周囲約40m、高さ約5mで、地上より4段に築かれています。頂上には御嶽山神社を中心に、八海山、三笠山、春名山の神社碑などの多数の石碑が立ち並んでいます。

現当主・神山稔さんの話

「我が家二代目の彦平(稔さんの4代前)が、明治5年(1872)頃に、南畑の十玉院に入門しました。その後、針ヶ谷に戻り民間信仰の原点ともいえる御嶽山信仰・覚明講社をおこしました。そして、明治10年頃に山の信仰をより大衆のものにするためにこの針ヶ谷の地に築いたようです。先達としては、彦平と



神山家の御嶽塚

ているようです。神山家の塚は大きいので、塚自体の維持が大変だと思っています。しかし、塚は地域の歴史を物語る貴重な文化遺産です。後世に残すためにも、富士見市の文化財として指定し、残して欲しいものです。

取材を終えて

木内家、神山家共にこれまでの足跡を記録に残されています。木内家では忠寿氏が『傘寿回想』、神山家では稔氏が『我が家の先達たち』として小冊子にまとめていらっしゃいます。

地域の歴史を知るうえで、大変役に立つもので、今後も史料を整理し、新しい事項を加えていただければ幸いです。

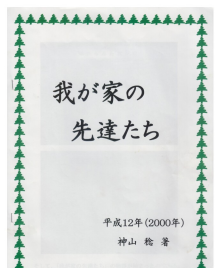
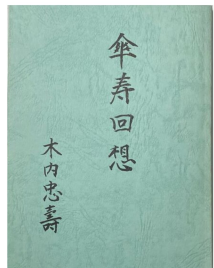
(辻編集委員)

後世に残すために

両家とも、先達から離れられていますが、塚の管理には大変ご苦労され



神山家 御嶽山神社の石碑



『傘寿回想』と『我が家の先達たち』